

私立大学図書館協会東地区部会

スキルアップ研修「学習環境」

担当 米澤 誠(IAAL)

内容と目標

大学図書館にラーニング・コモンズの理念や機能が導入されて以来、従来の学び方とは異なる「アクティブ・ラーニング」の考え方と意義が普及し、大学図書館の学習環境も大幅に変貌してきました。この研修では、ラーニング・コモンズの歴史や現状を顧みることで、ラーニング・コモンズとその背景にある「学び方」の思想を再考するとともに、大学図書館における「これからの学習支援」のあり方や可能性を同じ大学図書館員の仲間と議論・共有して探ることで、各受講者が所属する大学における学習環境の向上や学習支援サービスの充実に資することとを目標とします。

研修の教材となる教科書的な資料はないので、研修を進める上で必要となる論文等の参考資料については、その都度提示する予定です。

研修計画・開催方法

内容

学習環境の中心テーマである「ラーニング・コモンズ」「学習支援」をそれぞれ講義、ディスカッション・レビューの2回に分けて実施

開催

- 第1回 「ラーニング・コモンズ」 講義・質疑応答
- 第2回 「ラーニング・コモンズ」 ディスカッション・発表、レビュー
- 第3回 「学習支援」 講義・質疑応答
- 第4回 「学習支援」 ディスカッション・発表、レビュー、まとめ

月1回、平日午後1:30-4:30（途中休憩約10分を挟む）

例えば6-9月または7-10月の第1金曜。もしくは集中講習として、8月・9月に各2回。

オンライン（Zoom）開催

※ 受講の際にはインターネットに接続できる環境とブラウザが必要となります。